

IV むすび

以上、平成22年度の道政執行に臨む、私の所信の一端を述べさせていただきました。

私は、北海道知事に就任して以来、これまで全道各地を訪問し、数多くの方々とお会いしてまいりました。

その経験を通じ強く実感するのは、北海道の「魅力」や「力」の源は、地域に根ざして力強く生きる人々の存在そのものであるということです。

そして、皆様に共通するのは、先人の方々から脈々と受け継がれた道民としてのアイデンティティーである「挑戦の精神」と「粘り強さ」であります。

私自身も、難しい課題や困難に直面したとき、尊敬すべき多くの先人の高い志とフロンティア精神を思い起こし、勇気づけられました。

自らの信じる道を追い求め、多くの困難を乗り越え、世界に認められる業績を残した日本ウイスキーの父、竹鶴政孝さ

人も私に勇気を与えてくれた一人です。

まだ日本人にとってウイスキーが馴染みのなかった大正時代、竹鶴さんは、単身スコットランドに渡り、言葉や文化の違いに苦労を重ねながら、本格的な製造技術を学び、その技を持ち帰りました。

そして、優れたウイスキーづくりにとっては、北海道・余市の気候風土こそが最も適していると信じた竹鶴さんは、その未来を、この地に託しました。

昭和の激動期において、数多くの困難に直面しながらも、自らの技術を磨き、「熟成」という価値の創造に思いをはせながら、世界が認めるウイスキーを創り上げていきました。

こうした取組こそが、私たちがめざす「北海道価値」の創造であります。

変革の時代を進む道のりは、決して容易なものではありません。

しかし、竹鶴さんが歩んだように、常に、夢と理想を持ち続け、北海道の多彩な「価値」にこだわり、果敢な挑戦と創

造を続けることによって、必ずや素晴らしい未来を切り拓くことができると思います。

大きな変革の時代を迎えている今日、将来を担う子どもたちが誇りを持てる北海道を創り上げるために、目の前の試練を乗り越え、希望に満ちた北海道づくりに向けて、ともに歩んでいこうではありませんか。

道民の皆様、道議会議員の皆様、一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。